

宋金元版禪籍所在目録初稿

椎名宏雄

さきごろ、高野山の靈宝館で、勸学院所蔵書の『景德伝燈錄』三〇帖を閲する機会をえた。人も知る、かの重文の宋版大藏經本で、元豐三年（一〇八〇）の刊記をもつ。莊重なくみ帙を繙けば、厚手の黃紙に大きく素朴な刻字体が目を射る。それは、九〇〇年の歲月をすこしも感じさせぬ新鮮な感触と驚きであった。

しかし、禪文献の上からは、古版のもつ魅力は、かかる外面的な点にあるのではない。宋元版禪籍の価値は、概して初刻の原型、またはこれにもつとも近いテキストを提供し、また、五山版・高麗版・明版などの母胎となることが多い点にある。かくて、古版禪籍を体系的に考察しなければならないが、それには、まずその所在を知り、現物を手にし、比較検討を進めなければならぬこと、いうまでもない。

しかるに、これら古版類は、いつたいどこにどれほど残存しているのであろうか。これを知るために、従来、『禪籍

目録』をはじめとする各種の所蔵目録、善本書目等があり、また、書誌学界の大御所、長沢規矩也・阿部隆一・川瀬一馬各氏による調査目録等が、暗夜に灯を与えている。これらの先著・先学の恩恵により、盲蛇におじず、かかる方面に足をふみ入れている筆者としては、この辺りで所在目録を一応整理しておくことが急務であることを痛感する。

長沢・阿部の両大御所はすでに亡く、その古版研究に遺された偉大な業績も、すでに回顧される立場にある。のみならず、こうした作業には長い歳月と労力を要し、一個人の手には限りがある。さらに、現存する宋元版禪籍の成立と伝承経路を知ることが、五山版の成立、ひいては本邦禪籍の流傳状況の解明にとって、きわめて重要である。現存古版の所在整理こそは、そのための基礎作業にほかならない。

もとより、世界各国に散在する宋元版禪籍を、漏れなく知ることは不可能であるが、本邦と台灣の主要な機関に所蔵さ

れる典籍は、ほぼ網羅したつもりである。ただし、大藏經中の禪籍については、本邦では『昭和法寶總目錄』全三巻や他の所蔵目録に著録されるもの、また、筆者の直接閲覧したものののみにとどめた。

大陸のものは、大藏經自体の所在とその内容すら、いまだほとんど未紹介の現況にあるため、從来知られている金藏や磧砂版大藏經所収のもの、及び國公立図書館の蔵書目、筆者の披見したもの、等にとどめざるを得なかつた。

したがつて、本目録は決して満足すべきものではなく、識者のご助言と筆者の不斷の調査とによって、今後も訂正補欠をなしてゆきたい。「初稿」の二字を付したのはそのためであり、切に先学の助言を乞う次第である。



凡例

一、以下は、宋・金・元各版の禪籍を版行と所蔵者の別に排列した。ただし、便宜上、通称名を用いた場合もある。

掲載した。

一、禪籍名は、原則として原典所載名に依り、五十音順に排列した。ただし、便宜上、通称名を用いた場合もある。

一、版行の別は①②等で区分し、刊行年・刊行者・巻冊数

等を記載した。大藏經中の函字は「」で示した。

一、所蔵者は①②等で区分し、現藏者未確認の場合は旧蔵者名を記載した。

一、個々の典籍に関する影印・写真、書誌的解題・論文等を末尾に掲載した。これらが皆無の場合は、著録される典拠を掲載した。典拠の記載は初出のみを詳細とした。

1 雲峰悅禪師語錄

①宋版、一巻一冊

①京大谷村、②上海師範大

②宋版、一冊

①成實堂

①の①は『京都大學谷村文庫目錄』（一九六三年三月、京都大學附屬図書館刊）に著録。②は筆者閲覧。②の①は嘉熙二年（一二三八）に鼓山の晦室師明刊『古尊宿語要』のうち、正刊二〇家八冊中の第六冊に該当。

2 雲門匡真禪師廣錄

①宋版、熙寧九年（一〇七六）△序▽刊、上中下三巻三冊

①建仁寺兩足院

『古尊宿語録』二五家本中のものと同一版。卷首の写真一葉が川瀬一馬『五山版の研究』下に掲載。筆者「『雲門広録』とその抄録本の系統」(『宗学研究』二四、昭和五七年三月)参考照。

3 円覺経道場修證儀

①金版、金刻大藏經〔丹・青〕所収本、存一四卷(巻子)

①広勝寺旧蔵

『宋藏遺珍』には未取で、蔣唯心『宋藏遺珍叙目』(一九三五)中に著録されるのみ。広勝寺より発見の金蔵は、現所蔵者不詳。

4 圓悟禪師心要

①宋版、嘉熙二年(一一三八)重刊、二卷四冊

①東洋(岩崎)、②安田(鈔補、一冊本)、③東京伊東祐淳

①本に存する刻工名は、長沢規矩也「宋刊本刻工名表(一)」

(『書誌学』復刊二〇号、昭和四五年一月)中に掲載。②本は長沢氏『関東現存宋元版書目』(昭和二三年八月、日本書誌学会刊)中に著録。③本は『重要文化財』(昭和五二年一月、毎日新聞社刊)第二一巻に、巻下の首尾二葉の写真を掲載。

5 圓悟佛果禪師語錄

①宋版、紹興(一一三一~六三)頃刊、二冊

①東福寺(同一版、二種四冊)

『重要文化財』二一に、第一冊の首部二葉づつを第一種・第二種対照して掲載。

6 黄梅東山語錄

①宋版、慶元六年(一一〇〇)刊、合綴一冊

①宮内庁書陵部

「滁州瑤琊山覓和尚語錄」「舒州白雲山海会演和尚語錄」を抄写補綴して前付。宮内庁書陵部編『図書寮典籍解題』漢籍

の部(昭和三年三月、大蔵省印刷局刊)、柳田聖山「宋版古尊宿語録調査報告」(『禅文化研究所研究紀要』四、昭和四七年七月)、筆者「宋版『慈明四家録』とその周辺」(『駒沢大学仏教学部論集』一三、昭和五七年一〇月)、等参照。

7 嘉泰普燈錄

①宋版、嘉定年間(一一〇八~二五)、淨慈寺刊、存六卷六冊(卷一~三、二八~三〇)

①北京図書館

宋金元版禪籍所在目録初稿（椎名）

一九四

『北京図書館善本書目』（一九五九年、北京中華書局刊）に著録。

8 海印禪師三会語

①元版、至治年間（一二二一～四）刊、一卷一冊

①成竇堂

蘇峰先生古稀祝賀記念刊行会編『成竇堂善本書目』（昭和七年五月、民友社刊）に著録。

9 瞠堂禪師語録

①宋版、淳熙四年（一一七七）△序▽刊、零本下巻一冊

①書陵部

13 鏡堂和尚語録

『北京大学図書館李氏書目』（一九五六、同図書館刊）に著録。昌熾管礼耕の跋を有すと。

①元版、元祐二年（一一〇四）△跋▽刊、長汀庭鉉刻、一巻三冊

①天理

10 寒山詩集

①宋版、無我補刻本、附豊干拾得詩、一巻一冊

①書陵部

『図書寮典籍解題』漢籍の部、に解題を収録。また、昭和三年（一九二八）に審美書院刊の影印本あり。

11 虚堂和尚語録

①宋版、咸淳五年（一二六九）△跋▽刊、正三巻続一巻四冊

①成竇堂

『成竇堂善本書目』に解題を収録。一休の旧蔵書。

12 夾註輔教篇

①元版、延祐七年（一二九〇）刊、存一巻一冊（蝶装葉）

①北京大

東福寺自悦守沢の手沢本で、善慧軒旧蔵。『天理図書館稀書目録』和漢書之部第三（昭和三五年一〇月、天理図書館刊）及び阿部隆一「天理図書館蔵宋金元版本考」（『ビブリア』七五昭和五五年一〇月）に解題収録。但し、両者共に本書の撰者を

鏡堂覚円とするのは誤りで、実は方山文宝の法嗣、鏡堂古の語錄であり、現存唯一本の貴重文献。

- ④宋版、零本一帖（卷四）
①浅草寺

- 14 空谷集
①元版、至元二二二年（一二八五）△序▽刊、六卷
①岸沢（上欠一冊）

『新纂禪籍目録』（昭和三七年六月、駒沢大学図書館刊）に著録されるも、『岸沢文庫蔵書目録』（写本）には見当らず。存在不詳。

- ⑤宋版、紹興四年（一一三四）刊、釈思鑒刻本、三〇巻、西來年表一巻、全一四冊（但し、卷一～三は元至正二五年△一六五▽釈宝生刻本、卷四、一〇～一二、二三、二五～三〇は劉世珩の景印元延祐三年本）
①北京図書館、②同（零本一冊△卷一八▽）
⑥宋版、三〇巻、西來年表一巻、一〇冊（但し西來年表は別の宋版、卷一〇～一二は紹興四年思鑒刻本、卷二～三は清代の抄本）
①北京図書館

15 景徳伝燈録

- ①宋版、元豐三～五年（一〇八〇～八二）刊、福州東禪寺版
大藏經〔振・纓・世〕所収本、三〇巻三〇帖（付音義三帖）
①東寺 ②金剛峯寺勸学院（音訛欠）
②宋版、東禪寺版大藏經〔振・纓・世〕所収本、①の再刻本
か、三〇巻三〇帖（付音義三帖）
①書陵部、②上醍醐寺、③金沢文庫（卷二～四、八～九、
二四・二七・二九、世字音各欠）
③宋版、大藏經本覆刻〔振・纓・世〕、存二二巻二〇冊（卷六、
七、八・九、各合冊、卷一九～二六欠）
①京大谷村
- ⑩元版、延祐三年（一三一六）、湖州道場山禪幽庵刊、一〇冊①東洋（岩崎）、②浅草寺（元版大藏經〔振・纓・世〕所収本、三〇帖）、③成賓堂（零本二冊△卷一～二▽）、④京大谷村（零本二冊△卷一～二九▽）、⑤台北国立中央図書館

- (卷一一～二三は南宋初の臨安刊本にて配補、二四冊)、⑦故宮博物院(零本二冊×卷一〇～一二、一九～二一)、⑧北京大(但し卷一～九は貞和四年～三四八)日本刊、卷一九～二〇、二八は宋版、卷一一、二九～三〇は日本旧抄)、⑨北京大(零本三冊×卷二五～三〇)、⑩積翠軒文庫旧藏
- ⑪元版、延祐四年(一三一七)刊、普寧寺版大藏經所収本、
⑫京都今津洪嶽
- ⑬元版、泰定元年(一三一四)刊、普寧寺版大藏經〔振・繆・世〕所収本、三〇帖
- ⑭増上寺、⑤園城寺、⑥東福寺、⑦岐阜安國寺
- ⑮元版、至正二五年(一三六五)、紹宝生重刊、一五冊
- ⑯大東急文庫
- ⑰元版、存八卷(卷一～四、一〇～一三、一六～一八)
- ⑱北平図書館旧蔵
- 影印に三種がある。①は民国商務印書館編『四部叢刊』(民国二十四年～一九三五)、上海涵芬樓影印)第三篇子部は常熟瞿氏鉄琴銅劍樓藏本の宋版を底本とするが、この原本は⑥の②北京図書館現存本とみられる。この影印本は、『禪學叢書』之六(一九七六年二月、京都中文出版社刊)に再影印される。③は⑨の元版大藏經を影印する『景印宋版藏經』(民国一〇年以後～一九三一～)、上海景印宋版藏經刊行会刊)収録本で、これ

は後に『中華大藏經』(民国五四～一九六五)、台北中華大藏會印行)第一輯第九集中に再影印される。④は⑩の延祐三年版の影印二二冊本で、『玉海堂景宋叢書』之三として民国五年(一九一六)一〇月に成り、底本は清末の貴池劉世珩藏本である。

書誌的な所説は、①の②は水原堯栄『高野山見存藏經目録』(昭和六年一〇月、東京森江書店刊)中のもの、⑦の③はA Descriptive catalog of rare Chinese Books in edited by T L Yuan the Library of congress compiled by Nang Churi-min 1957, Washington Library of congress compiled by Wang Churi-min 1957, Washington Library of congress 中のもの、⑩の④は『成賓堂善本書目』、⑤は『國立中央金元本図録』(民国五〇年～一九六一～八月、中華叢書編審委員会刊)中に巻首の影印一葉と詳説、及び阿部隆一「中華民國中央図書館等藏宋金元版解題」(『中國訪書志』～昭和五年一月、汲古書院刊)、⑦は阿部氏「中華民國立故宮博物院藏楊氏觀海堂善本解題」(同)、⑧と⑨は『北京大學図書館藏李氏書目』(一九五六年、同図書館刊)、⑪の⑩は「第四十八回大藏会展観目録」(『大藏会展観目録』、昭和五六年一一月、京都文華堂書店刊)、⑫の⑪は長沢規矩也『大東急記念文庫貴重書解題』(同文庫刊)、等がある。全体的な所説としては、陳垣『中國佛教史籍概論』(一九六一年一一月、

北京中華書局刊)中のものと、椎名宏雄・鈴木哲雄「宋・元版『景德伝燈錄』の書誌的考察」(愛知学院『禪研究所紀要』第四・五号合併号、昭和五〇年三月)がある。

なお、開元寺版大藏經所収本はいずれかに現存するであろうが、確証をえぬため掲載をしない。

16 月林師觀禪師語錄

- ①宋版、嘉定年間(一一〇八~一二五)刊、一冊
①松ヶ岡

『新禪籍目録』(昭和三七年六月、駒沢大学図書館刊)に著録。

17 劍闘和尚語錄

- ①宋版、咸淳六年(一二七〇)△序▽刊、一卷一冊(首部欠)
①両足院

「第三十六回大藏会展観目録」(『大藏会展観目録』所収)に著録。筆者も閲覧済。

19 玄沙宗一大師広録

- ①宋版、元豐三年(一〇八〇)△序▽刊、三卷三冊
①栃木県大中寺、②彰考館旧蔵

他はいづれも『昭和法寶総目録』一の中に著録。

20 古尊宿語要・続刊古尊宿語要

- ①宋版、紹興八~一四年(一一三八~四四)頃、鼓山蹟藏主刊、二〇家二二卷
②宋版、嘉熙二年(一二三八)、鼓山晦室師明重刊(一〇家二

①東寺(但し卷二一~二五は紹興一八年刊本で補配)、②南禅寺(但し卷一・八・一〇以外は補写)、③金剛峯寺勸学院(但し卷二一~三〇欠、存二〇帖)

- ②宋版、紹興一八年(一一四八)刊、開元寺版大藏經〔刻・銘・礎〕所収本、三〇卷三〇帖(目録三帖)
①書陵部、②上醍醐寺、③知恩院、④叢山文庫(一五帖)

二卷四策……①)、及新刻『続刊古尊宿語要』(八〇家六策
……②)

①大東急(①と②の混合本六冊、但し二〇家の部分は約半数を
欠く)、②書陵部(①と②の①との混合本五冊、但し約 $\frac{1}{4}$ の量
を欠く。從来五山版とされていたもの)、③天理(②の全体一
八冊、但し第一七~一八冊は補写)、④国会図書館(零五冊、
②の①第二冊、②第二、四~六冊)

③宋版、咸淳三年(一二六七)、杭州覺心居士重刊、二五家
一九卷

①書陵部(九冊、但し第四冊~第九冊は②の②本、第九冊以外
は補写)、②成簀堂(二三冊)、③台北国立中央図書館(九
冊)、④北京図書館(存一六卷一二冊)

書誌的解題は、②の①が『大東急記念文庫貴重書解題』に
存し、続刊第三集巻首の写真一葉を掲載。②の②と③の①は
『図書寮典籍解題』漢籍篇に収録。②の④は『天理図書館稀
書目録』、阿部隆一「天理図書館藏宋金元版本考」に収録さ
れ、天理本の刻工名は金子正和「^{天理}_{書館蔵}宋刊本刻工名表」(『書
誌学』復刊新一八、昭和四五年二月)中に掲載。③の②は『成簀
堂善本書目』に収録され、『成簀堂善本書影七十種』(昭和七
年五月、民友社刊)中に第一冊巻首の写真一葉を掲載。また、
③の④は『^{國立中央}宋本図錄』(民国四七年~一九五八年、台北中

華叢書委員会刊)中に解題と「真淨語錄」の巻首写真一葉を掲
載、阿部隆一「^{中華民國立}中央図書館等藏宋金元版解題」中に解
題收録。③の④は『北京図書館善本書目』中に著録。

全体的な調査報告・論文は、①無著道忠の『古尊宿語錄
校訛』(一七三一)四巻と『福州鼓山寺古尊宿語要全部目録』
(共に『禪學叢書』一に影印収録)、②柳田聖山「古尊宿語錄
考」(『花園大学研究紀要』二、昭和四六年三月)、「宋版古尊宿語
錄調査報告」(『禪文化研究所研究紀要』四、昭和四七年七月)、③
椎名「『古尊宿語錄』正統諸本の系統」(『曹洞宗研究員研究生研
究紀要』一三、昭和五六年七月)、等がある。

21 虚舟和尚語錄

①元版、至元一二年(一二七五)刊、一冊

①松ヶ岡

『禪籍目録』の著録。

22 五燈会元

①宋版、宝祐元年(一二五三)~跋刊、二〇卷二〇冊

①台北故宮博物院、②書陵部(一部あり、①一八冊~卷八、
九の二冊欠く)、③一五冊~卷一、四~五、八~九の五冊欠く)、

④京都崇蘭館(零七冊、卷七~一二欠)、⑤小汀利得氏、⑥

容安書院旧蔵（零二卷△卷八・九▽）、①北京図書館（一部あり、②一〇卷△〇冊、③零五卷△卷一△五▽五冊）、④北京大（零四冊△卷一九△二〇▽）

②元版、至正二十四年（一三六四）△重刊序▽刊、二〇卷二〇

冊

①松本市広沢寺、②台北国立中央図書館（二四冊）、⑤北平図書館旧蔵（元刻明印本、存一六卷△卷五△二〇▽）

影印は、貴池劉世珩藏の①の宋版を原本に光緒三二一年（一九〇六）に『王海堂景宋叢書』之三として黃岡陶子麟の刊行、及びその再印が民国二〇年（一九三一）、民国六〇年（一九七一、台北広文書局刊）が存する。また、①の①の序末と巻首の写真二葉が楊守敬の『留真譜』（光緒二七年△一九〇一▽刊、後に『書目五篇』に影印収録）、②の第一冊目録首部と第四冊巻尾の写真四葉が『重要文化財』二一、に各掲載。

解題は、①の①は阿部隆一「故宮博物院藏楊氏觀海堂善本西現存宋元版目録」（『書誌学』一〇一三、昭和一三年三月）、②は森立之等編『經籍訪古志』（昭和一五年、東京日本書誌学会影印、後に『書目叢編』に再印収録）卷六、に各収録。③は『北京図書館善本書目』中に収録。④は『北京大学図書館李氏書目』（一九五六年、同図書館刊）中に収録。②の②は阿部氏「中華民國立」

央図書館等蔵宋金元版解題」に収録。②の③は『北平図書館善本書目』に収録されるが、現在の所蔵機関は不詳。

全般的な所説は、胡適に左の九論攷があり、『胡適手稿』

（民国五九年△一九七〇▽六月、胡適紀年館刊）第八集中冊に収録される。（①「記中央図書館藏的宋宝祐本五燈会元」、②「記宋宝祐本五燈会元的刻工」、③「記『恭仁山莊善本書影』裏的五燈会元書影」、④「記宋槩本容安書院藏与求古樓藏貞治戊申刊本五燈会元」、⑤「楊守敬『留真譜』初編裏的五燈会元書影」、⑥「寶祐本的鈔補与配補」、⑦「與周法高論所謂景宋寶祐本五燈会元的底本的信」、⑧「與黃彰健論劉世珩翻刻五燈會元的年代的信」、⑨「論劉世珩翻刻五燈會元的『貞治馬兒年』」。その他、前記影宋刊本に付せられる劉世珩の跋（光緒三二年影印本）、及び腴深甫の跋（民国二〇年再印本）があり、また、陳垣『中國佛教史籍概論』（一九六二年一一月、北京中華書局刊）、椎名「宋元版禪籍研究（一）『五燈会元』」（『印度學仏教學研究』二五一、昭和五二年一一月）、等がある。

23 護 法 論

①元版、至元二年（一二三六）△跋▽刊、一卷一冊

①内閣文庫

論文に椎名「『護法論』の諸版とその思想的基盤」（『曹洞宗宋金元版禪籍所在目録初稿（椎名）

研究員研究生研究紀要』一〇、昭和五三年八月) がある。

- ①元版、至正年間(一三四一~六八)、資福寺刊、一卷一冊
①台北国立中央図書館

24 高峰大師語録

- ①元版、一卷一冊

- ①成簀堂

『成簀堂善本書目』中に解題収録。もと法雲寺正受の手沢本。

25 高峰龍泉院因師集賢語録

- ①元版、全一五巻中、存一〇巻(巻一~一〇)

- ①北平図書館

『北平図書館善本書目』に著録。現蔵機関は不詳。

26 児庵寧和尚語録

- ①宋版、一冊

- ①甲府青洲文庫

『禅籍目録』に著録。

28 四家錄(馬祖四家錄)

- ①宋版

- ①江蘇省立国学図書館(南京)

『国立中央金元本図録』中に巻首の写真一葉及び解題を収録。
楊岐派一二世無聞思聰の著述で、他に伝本皆無。

29 四家錄(四家評語録)

- ①元版、至正二年(一三四二)刊、四冊

- ①台北国立中央図書館

阿部隆一「国立中央図書館等蔵宋金元版解題」中の調査報告と、椎名「元版『四家錄』とその資料」(『駒沢大学仏教学部論集』一〇、昭和五四年一一月)の論攷がある。

30 緹門警訓

- ①元版、零一卷(卷下)

①北平図書館

『北平図書館善本書目』に著録されるも、現所蔵機関は不詳。

31 慈愛深和尚陞堂頌古

- ①宋版、紹興五年(一一三五)△序▽刊、一冊

①書陵部

『図書寮典籍解題』に解題収録。金地院・興雲庵等の旧蔵書。

32 慈明四家錄

- ①宋版、紹興二三年(一一五三)△序▽刊、四卷二冊

①天理(巻四欠)

②の(口)は從来五山版と誤認されていたもの(川瀬一馬『五山

解題は『天理図書館稀書目録』、阿部隆一「天理図書館蔵宋金元版本考」(『ビブリア』七五)があり、刻工名は金子和正「天理図書館蔵宋刊本刻工名表」(『書誌学』復刊新一八)に掲載。論文に椎名「宋版『慈明四家錄』とその周辺」(『駒沢大学仏教学部論集』一三、昭和五七年一〇月)がある。

33 宗門統要

- ①宋版、淳熙六年(一一七九)△跋▽刊、一〇卷一〇冊

①東洋(岩崎)、②東福寺(一〇卷五冊)

②宋版

①大東急(零三冊、但し卷七の一冊のみが宋版、他は続集卷九、及び江戸期補写の同巻一〇~一一の二冊)、②叢山文庫

(天海藏)

①①の刻工名は長沢規矩也「宋刊本刻工名表(一)」に掲載。

②の(口)の(口)は從来五山版と誤認されていたもの(川瀬一馬『五山

版の研究』上 p.344 b)。

34 宗門統要続集

①元版、泰定二年（1311五）刊が、一一卷一〇冊

①内閣

紹介論文は椎名「宋元版禪籍研究（五）—宗門統要集・宗門統要続集—」『印度学仏教学研究』110—11、昭和五七年三月）がある。

35 宗門聯燈会要

①元版、至元二八年（1291）、鄭子埜刊、一一〇卷一〇冊

①書陵部、②立正大（零五冊、内一冊補写）

②元版、三山陳陽陳昕刊、一一〇卷一五冊

①叢山文庫（天海藏）

37 趙州真際禪師語錄

①元版、廬山棲賢宝覺禪院澄謹重詳定刊、三卷一冊

①積翠軒旧蔵

①の①は『図書寮典籍解題』に解題を収録。もと金地院・増上寺等の旧蔵本。②は従来五山版と誤認されていたもの（『五山版の研究』p.344 b）。閑説論文に石井修道「『宗門統要集について（上）』がある。

『石井積翠軒文庫善本書目』本文篇（昭和一七年一〇月、凸版印刷刊）に解題があり、同図録篇（同年同月、便利堂刊）に本書の巻首写真一葉を掲載する。現蔵者不詳。

①宋版、上中下三卷三冊

①書陵部

②宋版、嘉熙元年（1231七）刊、三卷六冊

①岸沢文庫

①の①は『図書寮典籍解題』に解題が収録され、柳田聖山「宋版禪籍調査報告」（『禅文化研究所紀要』五）に調査報告が紹介。石井修道「大慧宗杲とその弟子たち（II）—大慧『正法眼藏』と『聯燈会要』—」『印度学仏教学研究』110—11、昭和四七年三月）の論文もある。②は『禪籍目録』に著録されるが、岸沢文庫には目下存否不詳と。

①故宮博物院（存首二卷一冊）、②徳島阿波國文庫（焼失）

②元版、至元一九年（一二八二）刊、二〇卷五冊

①市立米沢図書館

③元版、至大二年（一三〇九）刊、二〇卷五冊

①内閣（但し卷一五～一七は室町期補写）

①の①は阿部隆一「物院蔵沈氏研易樓捐贈宋元版本志」（『訂増中国訪書志』、昭和五八年三月、汲古書院刊）に解題を収録。②は

『經籍訪古志』に解題が収録されるが、第二次大戦後に焼失。

長沢規矩也「阿波國文庫焼貴重書目錄」（『書誌学』復刊新二一、昭和四六年二月）中に解題と卷首写真一葉を掲載するのは貴重。

②の解題は吉池慶太郎編『米沢善本の研究と解題』漢籍

之部（昭和三年八月、市立米沢図書館刊）に収録。論文は椎名「宋元版禪籍研究（三）—輔教編・譚津文集—」（『印度學仏教學研究』二七一、昭和五三年一二月）がある。

39 宗 鏡 錄

①宋版、大觀元年～三年（一一〇七～九）刊、東禪寺版大藏

經「祿茂」所收本、一〇〇卷一〇〇帖（音義一〇帖）

①東寺、②金剛峯寺勸学院（但し卷一～五〇の五〇帖欠）、

③上醍醐寺（存一二帖～卷七一～八〇、及音義一帖）、④積翠軒旧藏（零二帖～卷七五・八〇）

宋金元版禪籍所在目録初稿（椎名）

②宋版、開元寺版大藏經〔祿茂〕所收本、一〇〇卷一〇

○帖

①書陵部（一一〇帖）、②知恩院、③北京図書館（零一冊

～卷七四）

③宋版、思溪版大藏經〔濟感〕所收本、一〇〇卷一〇〇帖

①増上寺

④宋版、紹興二八年（一一五八）刊、東禪寺版大藏經所收本

①北京図書館（零一冊～卷三）

⑤宋版、大藏經本

①大阪府立図書館（零一帖～卷二四）、②京大（零一帖～卷三六）、③京大人文研（零一卷～卷四七）、④京大谷村（零一帖～卷六四）

⑥元版、至元二二～二三年（一二八五～六）刊、普寧版大藏經〔濟感〕所收本、一〇〇卷一〇〇帖

①淺草寺、②増上寺、③園城寺、④東福寺、⑤西大寺、⑥岐阜安國寺、⑦喜多院（卷二八・九一の二帖欠）、⑧禪文庫（零一帖～卷八七）

⑦元版、延祐二年（一二九五）、礎砂版大藏經〔濟感〕所

收本

①陝西省立図書館

⑧元版、大藏經所收本

①南禪寺（存一〇帖～卷七一～八〇）、②積翠軒旧藏（零一

宋金元版禪籍所在目録初稿（椎名）

二〇四

帖△卷四九▽)

解題は、①の□が『高野山見存藏書目録』、②と⑧の□が『石井積翠軒善本書目』、に各著録。影印は、⑦が『影印宋版藏經』及び『中華大藏經』第一輯第三六冊中、⑧の①が白石虎月『続禪宗編年史』に巻八〇の首尾写真二葉を各掲載。

著録は、②の○と④が『北京図書館善本書目』、⑤の①が『大阪府立図書館貴重図書目録』、□が「第十六回大蔵会展観目録」、○が『京都大学人文科学研究所漢籍分類目録』（昭和三八年九月、同図書館刊）子部、○が『京都大学谷村文庫目録』、⑥の○が『喜多院一切経目録』（昭和四四年、喜多院刊）⑦が「第四十六回大蔵会展観目録」であり、他は全て『昭和法宝総目録』に所収される。

40 石屋和尚住嘉興元福禪寺語錄偈頌

①元版、二卷二冊

①江蘇省立国学図書館、○北平図書館旧蔵

『益山書影』に解題と巻首二葉の写真を掲載。□は『北平図書館善本書目』の著録で、現蔵機関は不詳。

43 雪巖和尚語錄

①元版、大徳二年（一二九八）△序▽刊、二卷三冊（第三冊は元禄年間補写）

①成竇堂

『成竇堂善本書目』に解題を収録。

44 雪竇顕和尚明覺大師頌古集、附拈古・瀑泉集・祖英集

①宋版、頌古集一卷・拈古一卷・瀑泉集一卷・祖英集二

①宋版、淳祐七年（一二四七）刊、零一冊（巻上）

①書陵部

解題を『図書寮典籍解題』に収録。瑞松庵等の旧蔵書。

卷、計五卷五冊

①北京図書館

『石井積翠軒文庫善本書目』本文篇に解題、同図録篇に卷首と卷末刊記の写真二葉が、各掲載。一絲文守の手沢本。現所蔵者は不詳。

『北京図書館善本書目』中に著録。『四部叢刊』続編(民国二三年へ一九三四)、上海商務印書館影印)集部に鉄琴銅劍樓藏本を影印収録するが、この原本が現在の北京図書館藏本と推定される。

45 雪竇顕和尚頌古集

①元版、至正二年(一三四二)、大明寺刊、一巻一冊

①台北国立中央図書館、②北平図書館旧蔵

解題が『成竇堂善本書目』中に収録。①は善慧軒の旧蔵書。

46 雪竇明覺大師祖英集

①は『國立中央金元本図録』中に巻首写真一葉と詳細な解題を掲載。阿部隆一「中華民國立中央図書館等藏宋金元版解題」中にも解題収録。②は『北平図書館善本書目』の著録であるが、これが現存①本の前身か。『四家錄』本中の一冊。

『北京図書館善本書目』に著録。他に伝本の知られぬテキスト。

47 雪竇明覺大師開堂語録、附後錄、拈古・頌古集

①元版、泰定元年(一三二四)△序△刊、二冊
①成竇堂、②成竇堂(但し頌古集を欠く)

48 雪堂行和尚拾遺録

①宋版、一巻一冊

①北京図書館

①元版、泰定年間(一三二四~八)題、四明徐汝舟刊、二巻一冊

①積翠軒旧蔵

49 雪峰東山和尚語録

①宋版、慶元年間(一一九五~一一〇一)刊、一巻一冊
①書陵部

長沢規矩也『関東現存宋元版書目』中に著録されるが、

『図書寮典籍解題』には不載。

52 禪林僧宝伝

①元版、至順二年（一三三二）刊、三〇巻六冊

①岸沢、②成簀堂（零七巻一冊△卷六△一△）

- ①宋版、嘉泰二年（一一〇一）刊、虞翔再刻、一〇巻二冊
①東洋（岩崎）

①は『禪籍目録』に著録。②は『成簀堂善本書目』に解題
収録。

53 禪林備用清規

四七年七月、曹洞宗宗務序刊の口絵に本書の刊記と目録の写
真二葉、及び解題を掲載。

①元版、至大四年（一三一四）刊、三巻一冊

①国会図書館

②元版、泰定二年（一三二五）△序△刊、一〇巻二冊

①成簀堂

51 禪宗頌古聯珠通集

①宋版、淳熙六年（一一七九）△序△刊、一〇巻七冊（卷三・
五・八の三冊欠）

①書陵部

②元版

①北平図書館旧蔵（零一冊△卷四△）、②久原文庫旧蔵
(零一冊)

54 禪林類聚

①元版、大徳二年（一三〇七）△序△刊、二〇巻二〇冊
(卷一五は天保八年補写)

①書陵部

①の①は『図書寮典籍解題』に解題収録。金地院旧蔵書。

②の①は『北平図書館善本書目』、②は「第十六回大蔵会展
観目録」、に各著録されるが、共に現所蔵者は不詳。

『図書寮典籍解題』に解題を収録。田盛業の旧蔵書。

55 祖庭事苑

- ①宋版、紹興二四年（一一五四）重刊、眉山王似刻本、八卷
三冊

①両足院、②彰考館旧蔵（焼失）

- ①は「第三十六回大蔵会展観目録」に著録。

56 大慧普覺禪師語錄

- ①宋版、乾道七～八年（一一七一～二）刊、開元寺版大蔵經
〔多・士・寔〕所収本、三〇巻三〇帖（附普説一帖）

①上醍醐寺、②書陵部（四帖欠く巻一六～一九▽）

- ②宋版、紹熙元年（一一九〇）刊、二巻一冊

①早大、②京都珍皇寺

- ③元版、泰定二年（一二三五）、福州東禪院刊、一二巻二冊

①西尾市立図書館（岩瀬文庫）

書誌に関する総合的論攷は、石井修道「大慧語錄の基礎的研究（上）」（駒沢大学仏教学部研究紀要）三一、昭和四八年三月）がある。

57 大慧普覺禪師年譜

- ①宋版、宝祐元年（一二五三）、徑山明月堂重刊、一冊

①立正大

臨川寺旧蔵書。論文は石井氏の前項に掲載のもの。なお、『鉄琴銅劍樓宋金元本書影』（民国一一年～一九二二▽）、常熟瞿氏石印、後に『書目四編』に収録）に巻首写真二葉と解題を掲載するが、その原本の現蔵者は不詳。

58 大慧普覺禪師普説

- ①宋版、紹興一九年（一一四九）刊、東禪寺版大蔵經〔寔〕所
収本、一巻一帖

①上醍醐寺、②書陵部

- ②宋版、一巻四冊

①北京図書館

①の①は、『重要文化財』二二に巻末の写真一葉を掲載。また、『鉄琴銅劍樓宋金元本書影』に写真二葉と解題を掲載する原本が、現在の②の①本であろう。

59 大慧普覺禪師法語

- ①宋版、福州東禪寺版大蔵經本、零二巻二帖

①天理、②慶大

②元版、泰定二年（一三二五）、福州東禪院刊、一冊

①西尾市立図書館（岩瀬文庫）

各本の書誌は石井氏「大慧語録の基礎的研究（上）」の論文に掲載。

60 大覺禪師語録

①宋版、二冊

①建長寺

『禪籍目録』に著録。

61 大光明藏

①宋版、淳祐元年（一二四一）△序△刊、三卷三冊

①大東急

②宋版、咸淳元年（一二六五）△跋△刊、二冊（卷上欠）

①成簀堂

①の①は『大東急記念文庫貴重書解題』に巻首と巻尾の写真二葉、及び解題を収録。②の①は『成簀堂善本書目』に解題を収録。

62 大顛和尚注心経

①元版、至正年間（一三四一～六八）刊、一卷一冊

①米国国会図書館

解題が『国会図書館所蔵中国善本目録』に収録。大顛宝通の著述。

63 大仏頂首楞嚴經会解

①元版、至正一二年（一三五二）、平江師子林集貲刊、一〇

卷一〇冊

①台北国立中央図書館、②神宮文庫（存二冊△卷九・一〇△）

①は『国立中央図書館金元本図録』に巻首の写真一葉と詳細な解題を収録。阿部隆一「中央図書館等蔵宋金元版解題」に解題収録。

②宋版、紹興三〇年（一一六〇）刊、釈行拱等刻、永明智覺

64 註心賦

①宋版、紹興三〇年（一一六〇）刊、釈行拱等刻、永明智覺

①北京図書館

②元版、四卷二冊

①北京図書館

①②共に『北京図書館善本書目』中に著録。

①は『国立中央金元本図録』に巻首の写真一葉と解題を、阿部隆一「中央図書館等蔵宋金元版解題」中に解題を、各収録。本書は『四家録』本であるが、②は①の旧蔵であろう。

65 天聖広燈錄

①宋版、大觀二～三年（一一〇八～九）刊、東禪寺版大藏經

〔実・勒・碑〕所収本、三〇卷三〇帖

①東寺、②金剛峯寺勸学院（存巻二～三〇、一〇帖）

②宋版、紹興一八年（一一四八）刊、開元寺版大藏經〔実・

勒・碑〕所収本、三〇卷三〇帖

①書陵部、②上醍醐寺、③知恩院

③金版、金刻大藏經〔九・州・禹〕所収本、存二八卷（巻子）

①広勝寺旧蔵

66 天童覚和尚頌古集

②のへの影印が『禪學叢書』五に収録。①の②は『高野山見存藏経目録』に著録。③の①は蔣唯心「金藏影印始末考」に著録。その他は『昭和法寶総目録』一に著録。

①は『盜山書影』中に巻二の部分四葉の写真と解題を収録。もと八千巻樓旧蔵書。

67 天如和尚語録・天如和尚別録・天如和尚剝語集

①元版、至正九年（一二四九）刊、語録五卷（存巻二・五）・

別録五卷・剝語集一卷、全四冊

①静嘉堂

①は『静嘉堂文庫国書分類目録』（昭和四年二月、同文庫刊）に著録。

68 天如和尚別録

①元版、至正九年（一二四九）刊、零三卷（巻三～五）

①江蘇省立国学図書館

①は『盜山書影』中に巻二の部分四葉の写真と解題を収録。もと八千巻樓旧蔵書。

69 天如和尚剝語集

①元版、至正二年（一二四二）大明寺刊、一卷一冊

①台北國立中央図書館、②北平図書館旧蔵

①元版、至正年間（一二四一～六八）、張善照刊、二卷二冊

①台北國立中央図書館、②北京大

本、一帖

①東寺

②宋版、紹興一八年（一一四八）刊、開元寺版大藏經〔夷〕所
収本、一帖

①上醍醐寺、②知恩院

①は劉承幹輯『嘉業堂善本書影』（民国一八年～一九二九年）、
吳興劉氏滬上石印）中に写真を掲載。阿部氏「中央図書館等蔵
宋金元版解題」には解題収録。②は『北京大学図書館蔵李氏
書目』中に著録。

70 天目中峰和尚広録

①元版、磧砂版大藏經〔韓・幣・煩〕所収本、三〇卷三〇帖

①陝西省立図書館、②京大谷村（零一帖～卷二〇〇）

②元版、存一九卷（卷一～九、一一～二〇）

①北平図書館旧蔵

③元末明初刊、三〇卷一〇冊

①台北国立中央図書館

いづれも『昭和法寶總目錄』一に著録。

72 伝燈玉英集

①金版、金刻大藏經〔沙・漠〕所収本、一五卷中存九卷（卷

二・三・五・六・八・一〇・一二・一四・一五、皆巻子）

①広勝寺旧蔵

①の①の影印は『景印宋版藏經』とその再印である『中華
大藏經』一一三八、に収録。②は『京都大学谷村文庫目録』
に著録。③は『北平図書館善本書目』の著録であるが、現蔵
機関は不詳。③は『金元本図録』に巻首の写真一葉と解題、
阿部氏「中央図書館等蔵宋金元版解題」に解題、を各収録。

影印は『宋藏遺珍』（民国二四年～一九三五年七月、上海影印
宋版藏經会刊、同六七年～一九七八年四月、台北新文豐出版公司再
印）四、及びこれを再印する『禪學叢書』（一九七五年六月、
京都中文出版社刊）五と、『中華大藏經』一一三八、に収録。
蔣唯心「金藏雕印始末考」中に巻子一本と本文部分の写真二
葉、及び闕説記事を収録。論文は椎名「『伝燈玉英集』の基
礎的考察」（曹洞宗研究員研究生研究紀要）九、昭和五二年九月
がある。

71 伝心法要、附宛陵錄

①宋版、大觀三年（一一〇九）刊、東禪寺版大藏經〔夷〕所収

73 伝法正宗記・伝法正宗定祖図・伝法正宗論

①宋版、隆興二年（一一六四）刊、開元寺版大藏經「時・阿」所収本、正宗記九卷・定祖図一卷・正宗論二卷、全一二

卷一二帖

①知恩院、②金沢文庫（正宗記の卷三欠、定祖図は補写）

②宋版、東禪寺版大藏經「踐・土」補影本、一二卷一二帖

①高山寺、②書陵部（定祖図一帖欠）

③元版、磧砂版大藏經「約・法」所収本、存一一卷一一帖

（定祖図一帖欠）

①陝西省立図書館

75 入衆須知

①元版、一冊

①書陵部

『図書寮典籍解題』中に解題収録。金地院の旧蔵書。

76 萬僧問答景德伝燈全錄

①元版、古建香山円智居士抄刊、零本二冊（卷一・二、五・六）

①故宮博物院

③は影印が『景印宋版藏經』及び『中華大藏經』一一三七に収録。所説・論文には、陳垣『中國仏教史籍概論』、椎名「宋元版禪籍研究（二）—正宗記・定祖図・正宗論—」（『印度學仏教學研究』二六一二、昭和五三年三月）がある。

『留真譜』一一に巻首の写真一葉を掲載。阿部隆一「故宮博物院藏楊氏觀海堂善本解題」に解題収録。河島延福禪寺の旧蔵書。なお、『北平図書館善本書目』には巻七・一二と一七・一〇を明刻本として著録。

74 東林和尚雲門庵主頌古

①宋版、一卷

①北平図書館旧蔵

77 百丈清規

①元版、至正三年（一三四三）、余氏思庵刊、八卷上下二冊

①京大谷村

竹庵士珪の撰述で、『古尊宿語要』本の一巻である。北京図書館の現蔵本との異同は不詳。

『京都大学谷村文庫目録』に著録され、入谷義高「元刊百丈清規について」（『石浜先生古稀記念東洋学論叢』、一九五八年一

一月) の論文がある。

81 仏國禪師文殊指南図讃

①宋版、臨安開經書舗賈官人宅印造、帶図本、一帖

- ①成賓堂(巻子)、②武田科学振興団、③天理(欠葉あり)、
②積翠軒旧蔵、④京都神田喜一郎、⑤今津洪嶽

①積翠軒旧蔵

『石井積翠軒文庫善本書目』に巻首一葉の写真、及び解題を収録。島田蕃根の旧蔵書。現所蔵者は不詳。

79 仏鑑禪師語錄

①宋版、淳祐二年(一二五二)刊、四冊

①東福寺、②書陵部(三冊、内第一冊は抄補)

①は『重要文化財』二一に巻首写真一葉を掲載。②は『図書寮典籍解題』に解題を収録。

82 仏祖宗派總図

①宋版、端平元年(一二三四)写刻跋、建安謙有名刊、一帖

①東福寺、②積翠軒旧蔵

①は『重要文化財』二一に帖首と帖尾の写真二葉を掲載。

②は『石井積翠軒文庫善本書目』に巻首の写真一葉と解題を掲載。現蔵者不詳。

①は『図書寮典籍解題』に解題収録。閔説は柳田聖山「古尊宿語錄考」「宋版古尊宿語錄調査報告」がある。

83 仏日円明大師別岸和尚語録

②元版、一〇巻四冊

①駒大、②岸沢

①北平図書館旧蔵

松源派五世の別岸若舟の語録で、他に伝本皆無。『北平図書館善本書目』の著録であるが、現蔵機関は不詳。

すべて『禅籍目録』の著録。②の①は明版に擬せられ、②は『岸沢文庫蔵書目録』に不録。その他、『禅籍目録』の著録する宣和七年（一一二五）の宮内庁本は誤記とみられ、建炎二年（一一二八）の彰考館本は焼失。

84 仏法大明録

①宋版、端平二年（一一三五）△序▽刊、一〇巻四冊

①東福寺靈雲院

『重要文化財』二一に第一冊の序首・序尾・卷首、第四冊

卷末・跋、の写真六葉を掲載。白石虎月『禪宗編年史』（昭和

一二年愛媛明光寺刊、昭和五一年、東方界覆刻）中に序・跋の写

真二葉を掲載。論文は、岡根守堅「仏法大明録の引用典籍」

（『禅の研究』一一二、昭和五年）、椎名「『仏法大明録』の諸本」

（『曹洞宗研究員研究生研究紀要』一一、昭和五四年八月）、がある。

86 蒲室集

①元版、至元四年（一二三八）△序▽刊、一五巻四冊

①両足院（二種あり、一種は前半欠の零一冊）

②元版（明版か）、一五巻一〇冊

①大東急、②尊経閣（零一冊）

①は「第三十六回大藏会展観目録」著録。②の①は『大東急記念文庫貴重書解題』に解題を収録。②は『尊経閣文庫漢籍分類目録』（昭和九年、同文庫刊）に著録。

87 輔教編

①宋版、開元寺版大藏經〔土〕所收本、三卷三帖

①書陵部、②高山寺、③知恩院（〔阿〕函）

②元版、礪砂版大藏經〔法〕所收本、三卷三帖

宋金元版禪籍所在目録初稿（椎名）

二二四

①陝西省立図書館

①宋版、（咸淳三年～一二六七）刊、明州阿育王山広利寺刻か）、『古尊宿語要』本

影印は②が『景印宋版藏經』と『中華大藏經』一一三七に所収。その他は『昭和法寶總目錄』一の著録。論文は椎名

「宋元版禪籍研究（三）—輔教編・鐸津文集—」（『印度學仏教學研究』二七一、昭和五三年一二月）がある。

88 宝林伝

①金版、金刻大藏經〔秦〕所収本、存六卷（卷一～五、八、卷子）

①広勝寺旧蔵

影印は『宋藏遺珍』三～四、『中華大藏經』一一三八、『禅學叢書』五、に収録。

89 法昌倚遇禪師語録

①宋版、崇寧四年（一一〇五）△序▽刊

①京都法然院

『禪籍目録』の著録。

90 宝峰雲庵真淨禪師語録・偈頌

①宋版、淳祐一〇年（一二五〇）△序▽刊、一卷一冊

①は阿部隆一「故宮博沈氏研易樓捐贈宋元版本志」（『訂增中國書志』所収）に解題を収録。②は『北平図書館善本書目』中に著録。現蔵者は不詳。

91 北礀和尚語録

①宋版、淳祐一二年（一二五二）△序▽刊、一卷一冊（前半

鈔補）

①書陵部

②元版、一卷一冊

①内閣

①は『書陵部典籍解題』に解題を収録。②は『内閣文庫漢籍分類目録』（昭和四六年三月、同文庫刊）に著録。

92 北礀外集

①書陵部

『図書寮典籍解題』に解題を収録。

93 北礀詩集

①宋版、九巻三冊

①成簣堂

円覚寺帰元院旧蔵書。『成簣堂善本書影七十種』中に巻首写真一葉を掲載。同『善本書目』に解題を収録。刻工名は長沢規矩也「宋刊本刻工名表初稿」（『書誌学』二一二、昭和九年二月）及び「宋刊本刻工名表」（共に『長沢規矩也著作集』三△昭和五八年七月、汲古書院刊▽所収）中に掲載。

94 北礀全集

①宋版、一九巻

①書陵部

『禅籍目録』に著録するが、『図書寮典籍解題』には不録。

刻工名が長沢氏「宋刊本刻工名表」（『長沢規矩也著作集』三）に収載。

95 北礀文集

①宋版、残本四巻（巻七～一〇）二冊

①国会図書館

旧上野図書館本で、長沢氏『関東現存宋元版書目』に著録。『禅籍目録』が宮内庁蔵とするのは、この国会図書館本か。

96 北山錄（注）、附註解隨函

①宋版、熙寧元年（一〇六八）△序跋▽刊

①北京図書館（存七巻△卷一～三、七～一〇▽一冊、欠註解隨函）

②北京図書館（存六巻△卷一～六▽二冊、註解隨函二巻一冊）

①は項氏天籟閣旧蔵、②は華亭朱氏文石山房旧蔵で、共に南海藩氏宝礼堂→北京図書館と所蔵が変る。②の「註解隨函」は元の広福大師全吉祥の刻本。

影印は一本を合して民国一〇年（一九二一）に成り（卷一△三、七～一〇は①本、卷四～六、註解隨函は②本）、民国六三年（一九七四）一月に台北の文史哲出版社から再印。論攷は、陳垣『中国佛教史籍概論』と、再印本に付せられる昌彼得「北山錄跋」（後に「跋影宋北山錄」と改題して『版本目録学論叢』

△民国六六年（一九七七）、台北学海出版社刊に収録がある。

97 萬善同帰集

- ①宋版、一冊（尾欠）
- ②我孫子市正泉寺

100 暈極会要

- ①宋版、紹興一五年（一一四五）刊、湖州報恩光孝禪寺道極
- 重開、三卷六冊

①台北国立中央図書館

①は大同博物館旧蔵書。②は「宋藏遺珍叙目」に著録。

98 妙湛和尚偈頌

- ①宋版、紹興一二年（一一四二）刊、福州閩縣刻、二冊

①故宮博物院

『國立中央図書館宋本図録』中に序の全文を写真掲載し、詳細な解題を収める。また、阿部隆一「中央図書館等蔵宋金元版解題」にも解題収録。

101 物初臘語・物初和尚語録

- ①宋版、臘語二五卷九冊・語録一冊、全一〇冊

①成竇堂

『成竇堂善本書目』に解題収録。仏国禪師将来本。

99 無文印・語録・讚・題跋

- 安部隆一「故宮藏沈氏研易樓捐贈宋元版本志」に解題を収録。滂喜齋旧蔵書。

- ①宋版、無文印二〇卷・語録四卷・讚一卷・題跋一卷、全二六卷八冊（但し語録以下は補写）

①国会図書館

102 永明智覺禪師方丈実録、附註心賦

- ①宋版、一卷一冊
- ①北京図書館

旧上野図書館本。『帝国図書館和漢図書目録』（明治三二一年、帝国図書館刊、昭和五七年、訂補縮刷版、汲古書院刊）第一編、及び長沢氏『関東現存宋元版書目』に著録。

『北京図書館善本書目』に著録。

『静嘉堂文庫漢籍分類目録』に著録。

103 楊岐会和尚語録

- ①宋版、(咸淳三年△一二六七△、明州阿育王山広利禪寺刊か)、
『古尊宿語要』本、一冊
①故宮博物院

『成賓堂善本書目』に著録。

106 六学僧伝

- ①元版、至正年間(一三四一~六八)刊、三〇卷一〇冊

104 安部隆一「故宮博沈氏研易樓捐贈宋元版本志」に解題を収 録。明の葉恭煥等旧蔵本。

104

臨濟慧照禪師語録

- ①宋版、一巻一冊
①上海師範大
②元版、大徳二年(一二九八)刊、雪堂刻、一巻一冊
①東洋(岩崎)

107 宏智録

- ①宋版、九巻六冊
①大分県泉福寺

論文に青竜虎法「高祖将来の宏智録に就て(上)(下)」(『禅
學雑誌』二三一五・六、大正七年)、石井修道「宏智廣録考」
(『駒沢大学仏教学部研究紀要』三〇、昭和四七年三月)がある。

105 冷斎夜話

- ①②共に筆者閲覧。学会未紹介本。

- ①元版、至正三二年(一三七三)、衢葉敦刊、一〇巻二冊
①静嘉堂

- ①は「第四回大蔵会陳列目録」(大正七年)と「第十六回大

「藏会展観目録」（昭和五年）に著録され、後者には解題を掲載。②は『石井積翠軒文庫善本書目』中に解題、及び巻首と刊記の写真二葉を掲載。①は普門院、②は久我環渓の各旧蔵書であるが、共に現所蔵者は不詳。前項石井氏の論文は、この二本にも関説する。

109 横川和尚語録

①元版、至正一九年（一三五九）、釈祖果刊、一冊

①天理

『天理図書館稀書目録』和漢書三、中に解題収録。阿部隆一「天理図書館蔵宋金元版考」にも解説あり。西莊文庫旧蔵本。